

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2013-177569

(P2013-177569A)

(43) 公開日 平成25年9月9日(2013.9.9)

(51) Int. Cl. F 1 テーマコード (参考)
 C 0 8 B 1 5 / 0 4 (2006.01) C 0 8 B 1 5 / 0 4 4 C 0 9 0

審査請求 未請求 請求項の数 8 O L (全 15 頁)

(21) 出願番号	特願2013-15367 (P2013-15367)	(71) 出願人	504180239 国立大学法人信州大学 長野県松本市旭三丁目1番1号
(22) 出願日	平成25年1月30日 (2013. 1. 30)	(71) 出願人	599035627 学校法人加計学園 岡山県岡山市北区理大町1-1
(31) 優先権主張番号	特願2012-20466 (P2012-20466)	(72) 発明者	荒木 潤 長野県上田市常田3-15-1 国立大学 法人信州大学繊維学部内
(32) 優先日	平成24年2月2日 (2012. 2. 2)	(72) 発明者	塚原 麻衣 長野県上田市常田3-15-1 国立大学 法人信州大学繊維学部内
(33) 優先権主張国	日本国 (JP)	(72) 発明者	岩本 憲治 長野県上田市常田3-15-1 国立大学 法人信州大学繊維学部内

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 多糖類固体の表面修飾方法

(57) 【要約】

【課題】 省エネルギーかつ低コストであり、強酸や有機試薬を排水中に混入させることなく環境負荷の少ない多糖類固体の表面修飾方法を提供する。

【解決手段】 修飾試薬の分子をシリカゲルなどの粗粒な固体粒子の表面に担持させて、これを多糖類固体と溶液中で攪拌混合することにより多糖類固体の表面に官能基を導入する。使用された修飾試薬担持固体触媒は、遠心分離等の手段によって固体粒子ごと回収し、その後再使用することが可能になる。

【選択図】 図2

